

こどもデジタル・シティズンシップ推進事業

現状と課題及び課題解決の方向性

1 将来像

こどもたちがデジタル社会の様々なリスクに対処して安全を確保しつつ、自身の目的に応じて適切に情報やICTを理解・活用できるようになる。

また、保護者がこどもたちの成長段階に応じた適切な利用方法を理解し、家庭で見守れるようになる。

2 現状と課題

・保護者が子どものネットリテラシーについて啓発を受ける機会は少ない。

〈保護者がインターネットに関する啓発や学習を受けた経験〉

- ・小学生の保護者：66.0%
- ・中学生の保護者：73.5%

・こどもたちが偽サイトや闇バイト等の被害に遭わないためにも、デジタル社会において身に付けるべきネットリテラシーを整理し保護者がそれを学ぶ機会を拡充とともに、より効果的な啓発を受講できる環境を整備する必要がある。

〈令和6年度の取組〉

- ① 専門家による講座内容の見直し
→ デジタル・シティズンシップを取り入れた資料を作成
- ② 県内で啓発活動を行う団体との情報共有、繁忙期の調整
- ③ オンライン講座とオンデマンド配信の実施

3 課題解決の方向性

ネットアドバイザーを講師として、新たに作成した資料により小中学校等で啓発講座を実施し、保護者の見守る力とこどもたちのインターネットリテラシーの向上を図る。

こどもデジタル・シティズンシップ推進事業

事業内容及び事業スキーム

▶ 1.事業内容

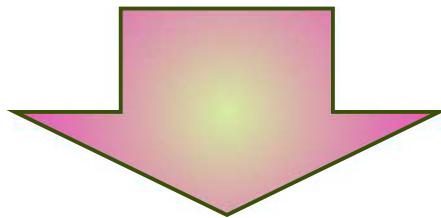
- ▶ これまでの「ネットの危険性」について重点を置いた講座内容から、デジタル社会に生きるこどもたちがリスクに対処して「ネットを利活用」し、保護者が適切に見守ることができるように、ネットアドバイザーを講師として、デジタル・シティズンシップを取り入れた講座資料を活用した啓発講座を行う。
- ▶ より効果的な啓発を行うため、アドバイザーを対象とした研修会を拡充し、講師としての資質向上を図る。

▶ 2.事業スキーム

- ▶ 〈新〉デジタル・シティズンシップを取り入れた「こども安全見守り講座」の実施（R7年度280回予定）
- ▶ 講座実績：R6年度開催回数193回、受講者数33,161人（R5年度開催回数220回、受講者数37,627人）
- ▶ 〈新〉ネットアドバイザーの研修の機会拡充（R7年度スキルアップ研修会・地域別勉強会（各4回予定））
 - ▶ ・講座のオンデマンド配信
 - ▶ ・関係機関との情報共有による連携

デジタル・シティズンシップ

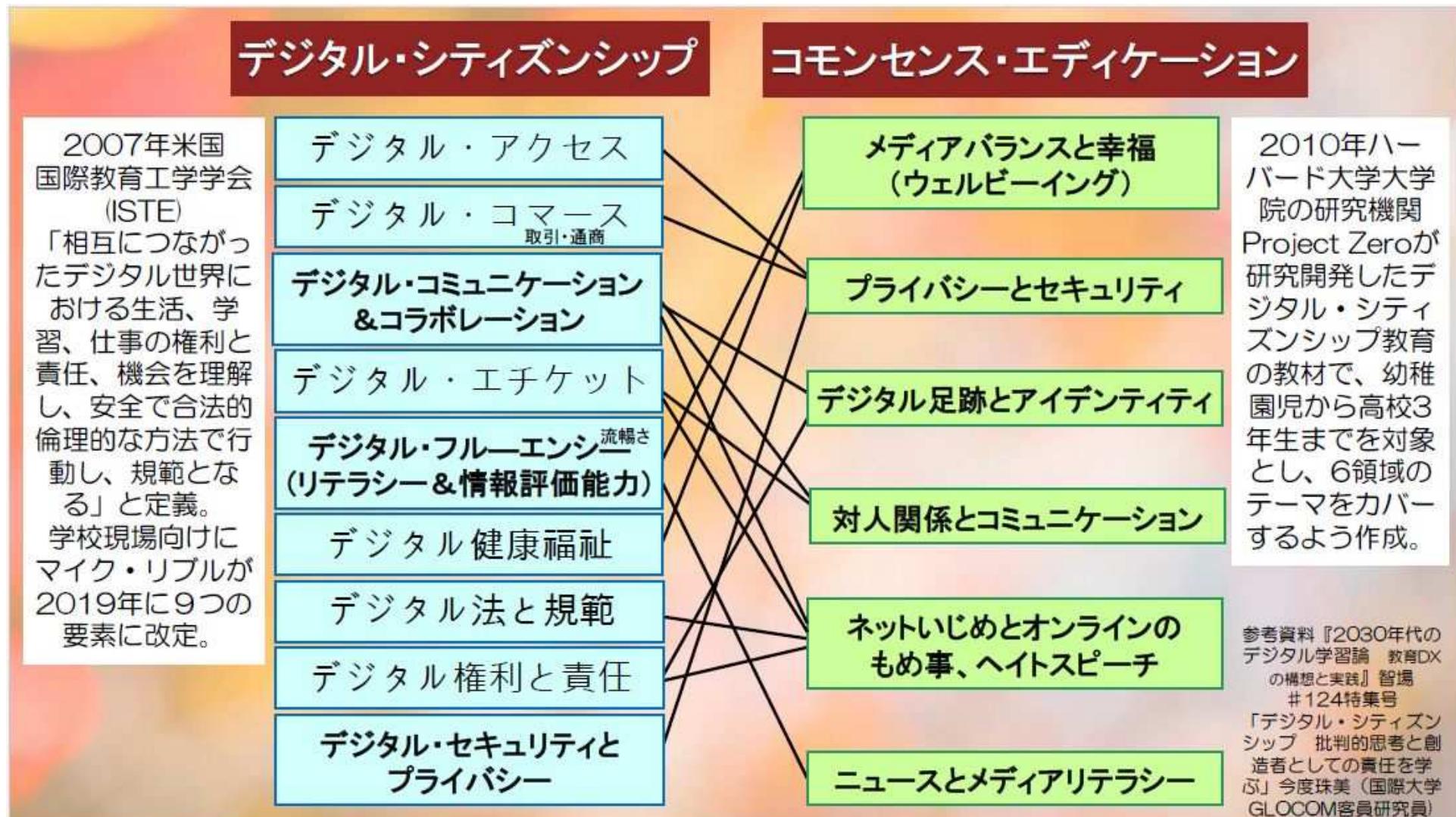
- ▶ **定義**
- ▶ デジタルテクノロジーを使い、学習、創造し、
 - ▶ 責任をもって市民社会へ参加する能力



▶ デジタル市民 Digital Citizens

「当事者性をもたせる素材案」大西久雄氏作成資料から引用

【参考】コモンセンス・エディケーションの6つの分類



「当事者性をもたせる素材案」
大西久雄氏資料から引用

「こども安全見守り講座」の手法や講座内容の検討

○ 手法や講座内容の検討

1. 連携会議の開催

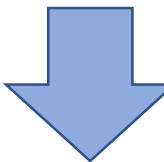
「こども安全見守り講座」と類似事業を実施している県警・総務省・民間通信事業者との連携や合理化について検討

2. 検討会議の開催

「こども安全見守り講座」の最も効果的な手法や講座内容等について検討

3. 資料作成委員会の開催

検討会議で提案された方針に基づき、講座資料を作成



デジタル・シティズンシップ教育のテーマ（図1）を踏まえ、
「こども安全見守り講座」のスタイルに合わせた、3つテーマ（図2）で講座を構成

「こども安全見守り講座」の手法や講座内容の検討

(図1) 出典「2022デジタル・シティズンシップ教育講座メニュー」

レクチャーテーマ	小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中学校	大人
1 インターネットの特性・仕組みを学ぶ	インターネットでできること、していること	インターネットの特徴を知る	インターネットの特徴と仕組みから考える	インターネットの特徴を活かすには	
	最初の悉皆テーマ。発達段階に応じたインターネットとはどういうものか、どう使うかを考える講座				
2 インターネットの投稿を考える	投稿がすぐ広がるのはなぜ	この投稿から次に起こりえること	投稿によるメリット・デメリット	投稿をどう作り、活用するか	
	インターネットの投稿拡散、投稿を起因とした効用や不利益、その使い方を考え、自分で決める講座				
3 インターネット上の悪口・いじめを考える	そのときどんな気持ちかな	インターネット上で見えること、見えないこと	投稿する前にReThink	フィルターハーフルの自覚と炎上とのつき合い方	
	インターネットを介したい負の投稿やいじめについて、どうしたらいいかを自ら主体的に考える講座				
4 インターネット上のウソやだましにのらない	ID、パスワードって何	クリックは要注意	メールや添付資料を賢く扱う	釣り、だましを上手にかわす	
	インターネット上の情報をどう扱うか、だまされないようにするために知っておく事等を考える講座				
5 ネットのマナー・プライバシー・権利を守る	自分のパソコンの使い方を考える	人のものを勝手に使うのは	インターネット上の権利と義務を知る	インターネット上の権利と義務を守る	
	インターネット使用上の守るべきこと、著作権をはじめ他者の権利を考え、尊重する姿勢を学ぶ講座				
6 メディア・リテラシーを高める			インターネット上の情報をすぐ信じると…	インターネット上の情報活用の達人に	
	小高学年から。ネットやメディア情報等との向き合い方、活用を考え、生活に活かす姿勢を学ぶ講座				

全ての内容を含む

4講座

「こども安全見守り講座」の手法や講座内容の検討

(図2)「こども安全見守り講座」講座内容

テーマ	主な内容項目
1 インターネット博士になろう	<ul style="list-style-type: none">・インターネットの特性、性質(記録・公開・信憑・流出・公共性)・インターネットの特性からの使い方プラス、マイナス・インターネットと心、からだの関係・依存度診断
2 インターネットでのやり取り達人をめざそう	<ul style="list-style-type: none">・ネット、SNS投稿のメリットとデメリット・ネットの特性からのSNS等の投稿の拡散、炎上のしくみ・投稿事例の危うさ発見、その原因や対処法(含著作権、肖像権等)・どう使うかの考察
3 インターネットの活用名人といわれよう	<ul style="list-style-type: none">・ID、パスワードとは、その重要性と守るための術・インターネットでのマナー、プライバシー、権利、義務・ネット上の偽情報や釣り、だましへの心構えと対応

インターネットをかしこく活用しよう！

こども安全見守り講座



保護者とこどもがネットのかしこい活用を
一緒に考える講演会を開きませんか

県認定の
講師が無料で
講演します
(交通費等も不要)



入学説明会



授業参観



お申込は県ホームページ
からお願いします

地域イベント、教員研修、青少年団体の研修など、
こどもたちを見守る方々の参加するイベントに幅広くご利用いただけます。
詳細は県ホームページをご覧ください。



問合せ先

埼玉県県民生活部 青少年課 健全育成支援担当
048-830-5858 a2905-08@pref.saitama.lg.jp

埼玉県マスコット
「さいたまっち＆コバトン」

インターネットでのやりとり めざそう たつじんを



講師

埼玉県ネットアドバイザー
コバトン

こども安全見守り講座
2025 埼玉県県民生活部青少年課 監修：大西久雄

このままインターネットにあげてだいじょうぶかな？



熱戸 愛
@netai

すまほ
塾の前で須真穂ちゃんと



みつけてみよう

この絵をインターネットに
あげるとしんぱいです。

しんぱいなところに
しるしをつけてみよう。
(1つではないよ)

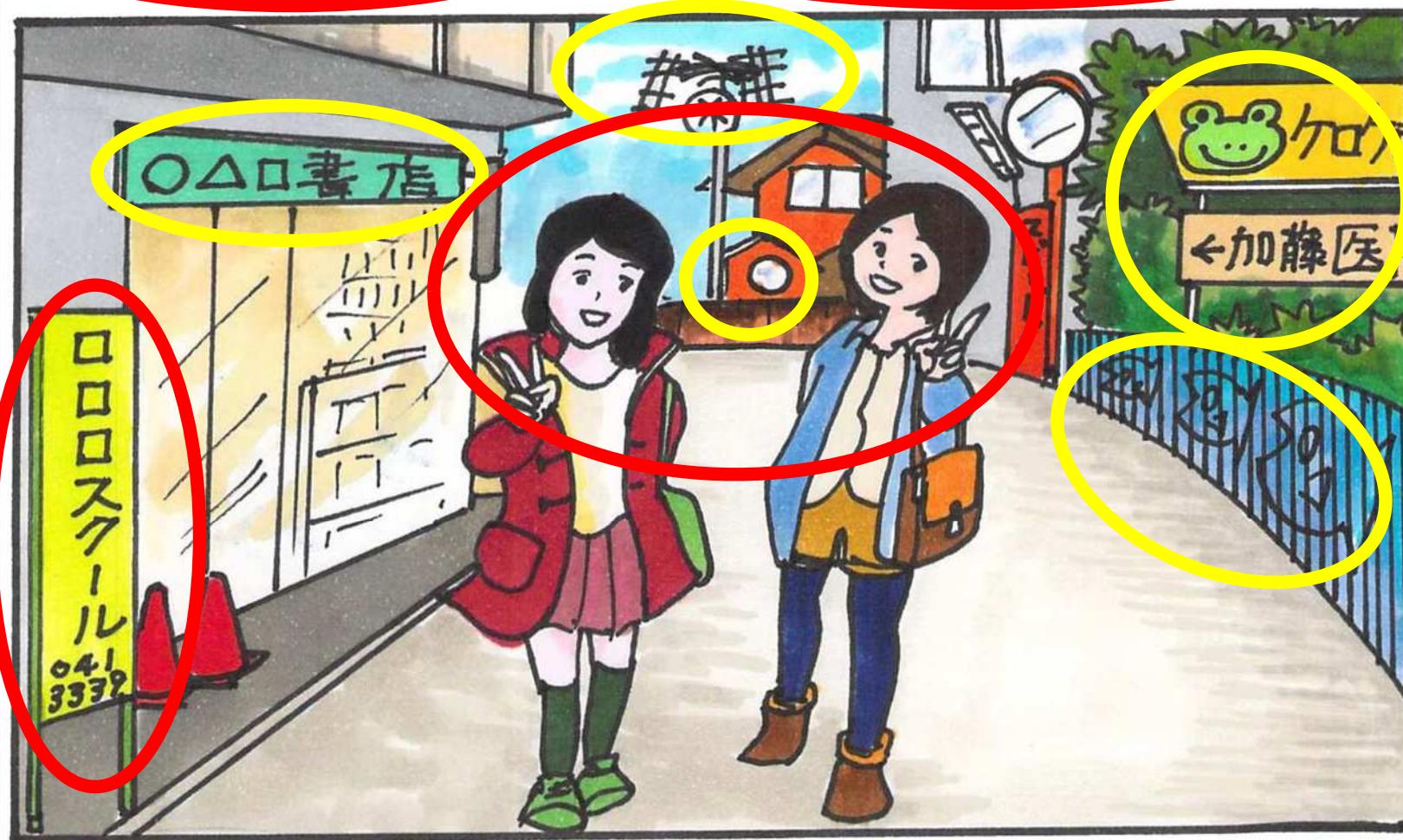
なにがしんぱいかも
かんがえてみよう。

このままインターネットにあげてだいじょうぶかな？



熱戸 愛
@netai

すまほ
塾の前で須真穂ちゃんと



これらを
インターネット
にあげると
なぜしんぱい？



とある下校風景



このときの
二人の
感情
気持ちは

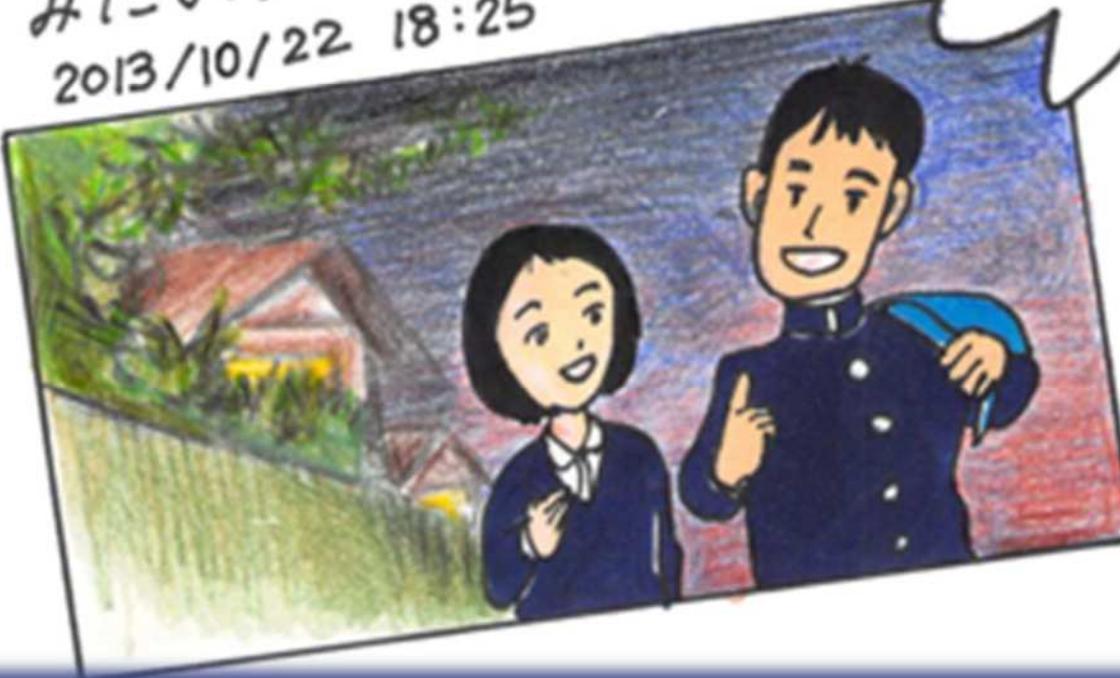


このあと
四人に
起こりえる
ことは



A
@AA-123

スクープ! 二人つきあってる
みたい。^o^
2013/10/22 18:25



SNSに
アップ